

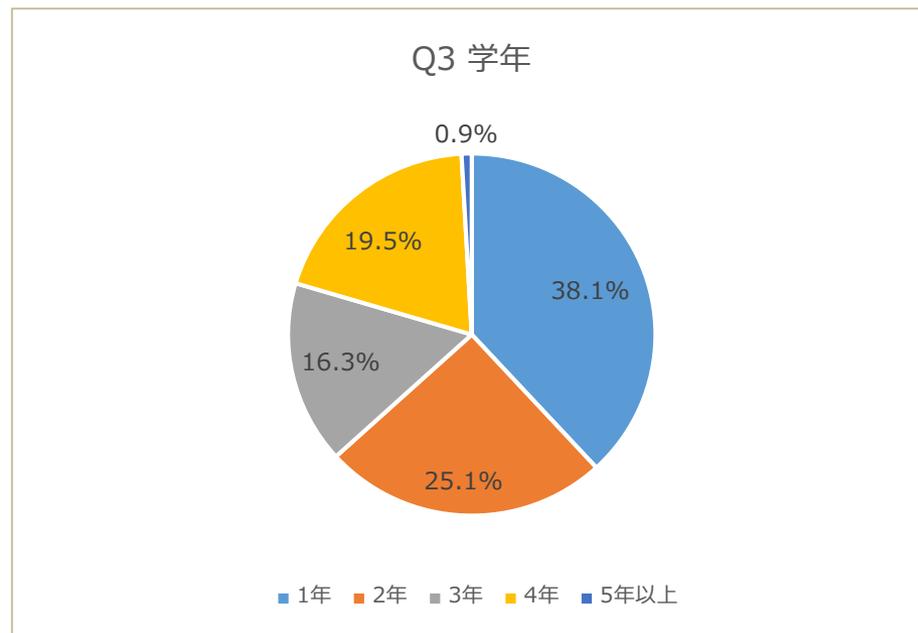
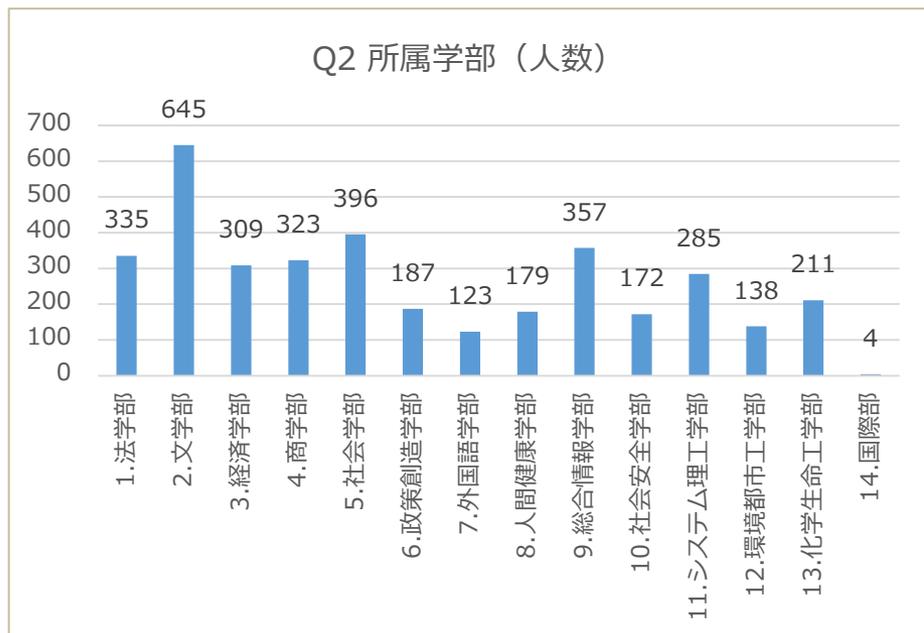
2021年度秋学期
授業・学生生活に関するアンケート
(ダイジェスト版)

教学IRプロジェクト

2022年1月



- 1 調査期間：2021年12月6日（月）～2022年1月6日（木）
- 2 調査対象：学部生（27,736名）
- 3 調査方法：インターネットを活用したアンケート調査（無記名）
- 4 有効回答：3,737件（回答率13.5%）
- 5 回答属性：

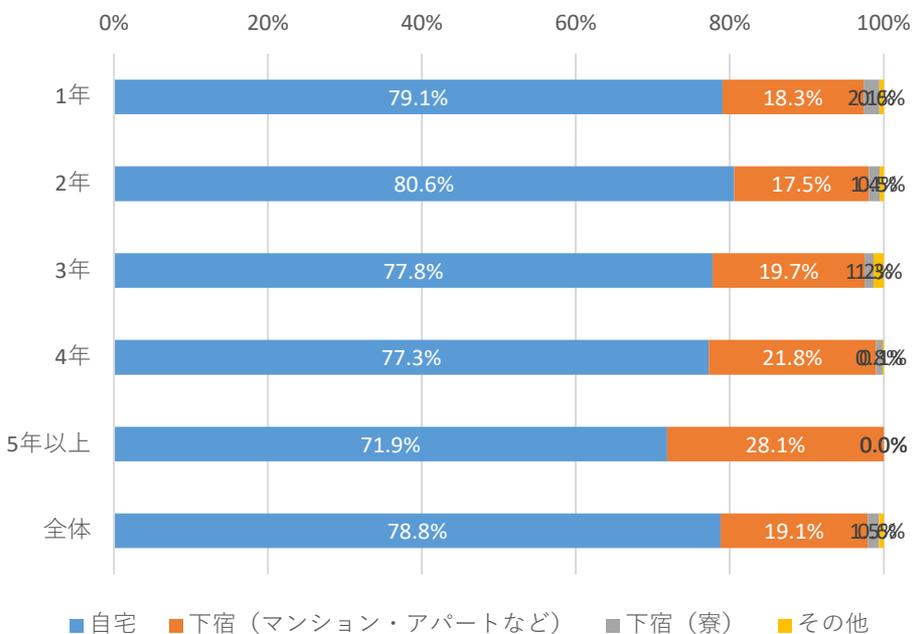


I 属性

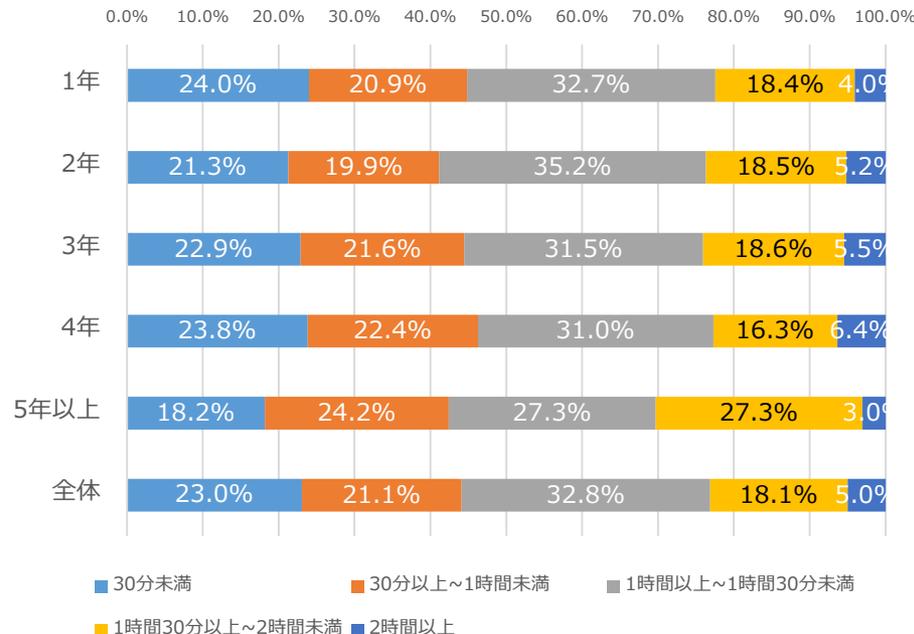


- Q4 住居形態は、約 8 割が自宅から通学し、学年による差異はない
- Q5 通学時間（片道）は、1 時間～1 時間30分の項目が多く選ばれ、学年による差異はない
- 2021年度春学期調査と同様の結果となった

Q4 住居形態

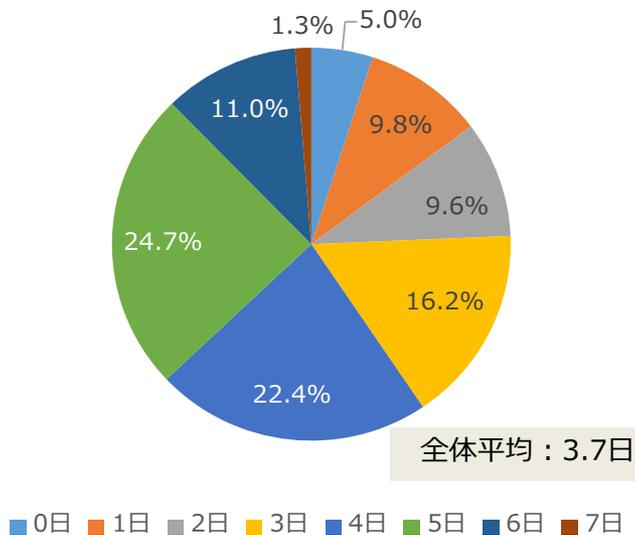


Q5 通学時間（片道）

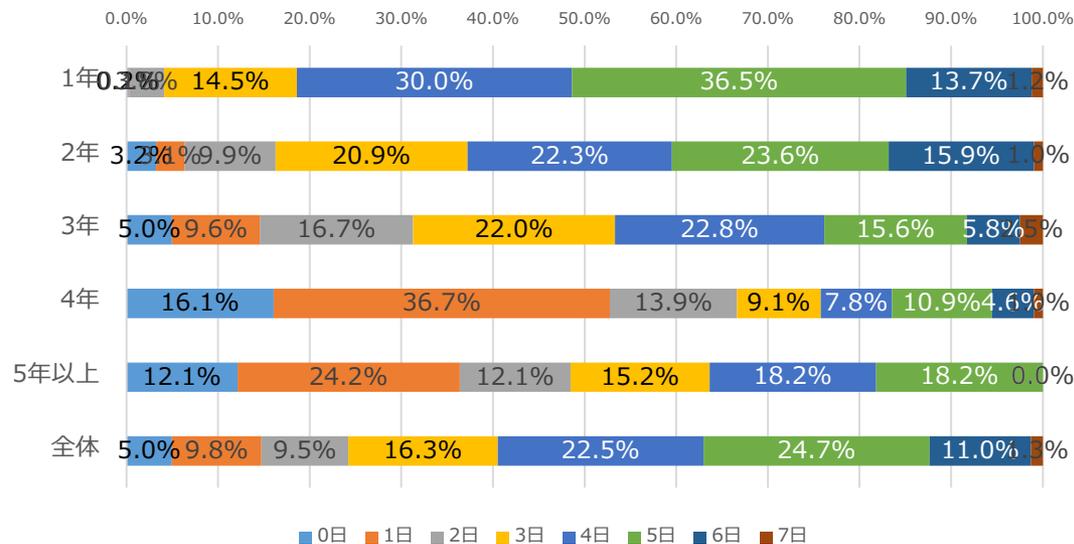


1 週あたりの通学日数、課外活動団体への所属

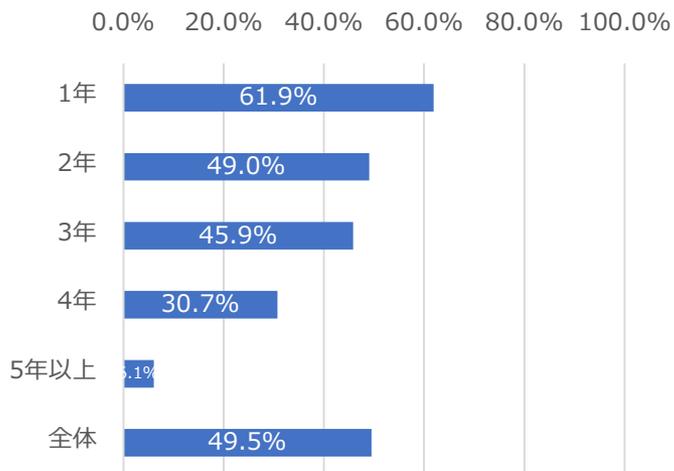
Q6 平均して1週間に何日通学していますか。



Q6 平均して1週間に何日通学していますか。(学年別集計)



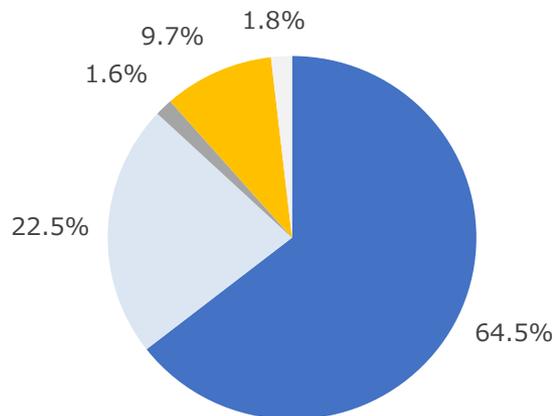
Q7 課外活動団体所属割合



- Q6 1週間の通学日数は全体平均3.7日
- 学年別には、1年 4.4日、2年 4.0日、3年 3.3日、4年 2.1日となり、上位学年になるにしたがって通学日数は少なくなる傾向となった
- Q7 課外活動団体への所属割合は、全体で49.5%となり、約半数が所属している結果となった

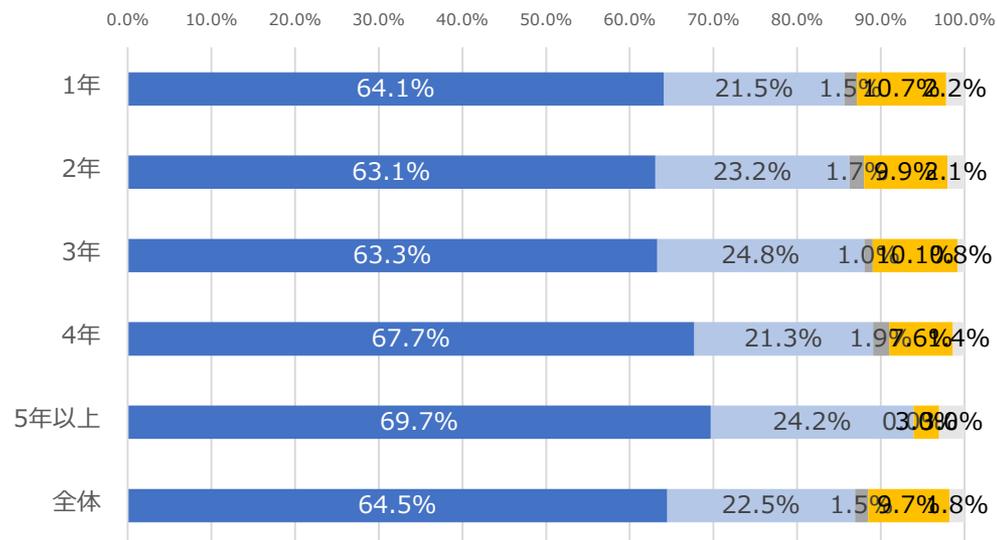
- Q8 新型コロナワクチンの接種状況は、本学で接種した割合は64.5%となり、本学が把握する接種率（57.1%,ただし大学院生含む）よりも高い値となった
- 本学以外での接種の割合は約2割となり、学年による差異はなかった

Q8 新型コロナワクチンの接種状況



- 1.本学で接種した
- 2.本学以外で接種した
- 3.これから接種する予定（1回接種済みを含む）
- 4.接種していない/しない
- 5.回答したくない

Q8 新型コロナワクチンの接種状況（学年別集計）

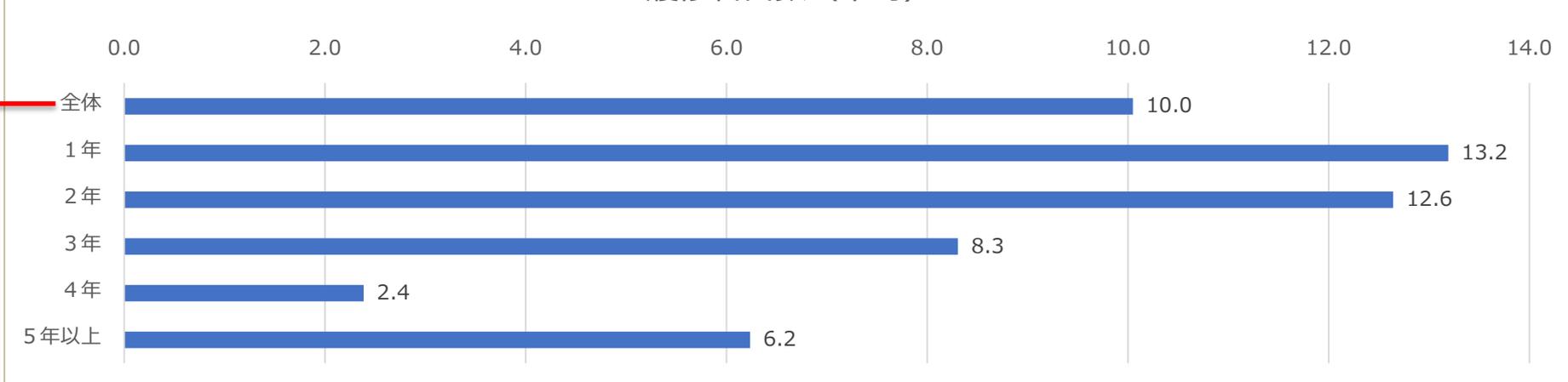


- 1.本学で接種した
- 2.本学以外で接種した
- 3.これから接種する予定（1回接種済みを含む）
- 4.接種していない/しない
- 5.回答したくない

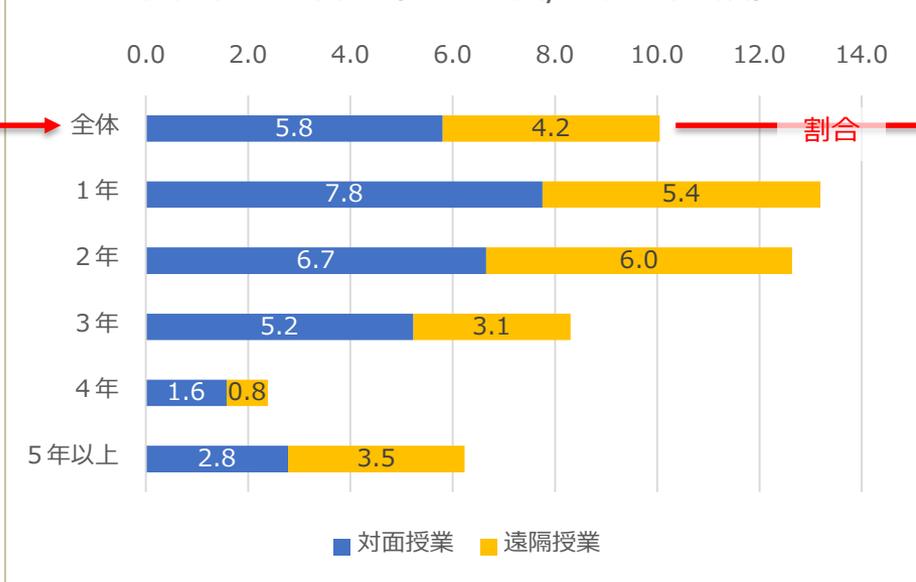
Ⅱ 授業に関すること



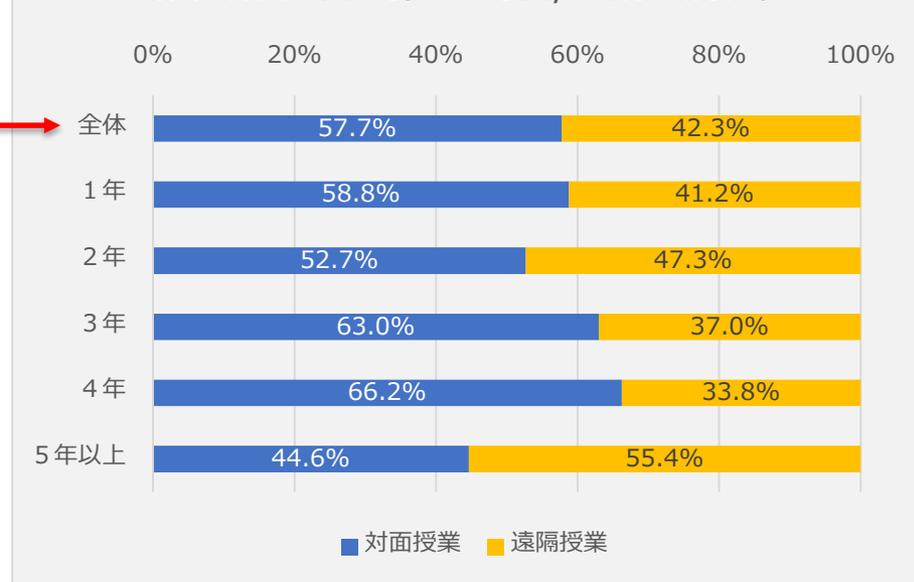
履修科目数（平均）



履修科目（平均）の対面/遠隔（内訳）



履修科目（平均）の対面/遠隔（割合）

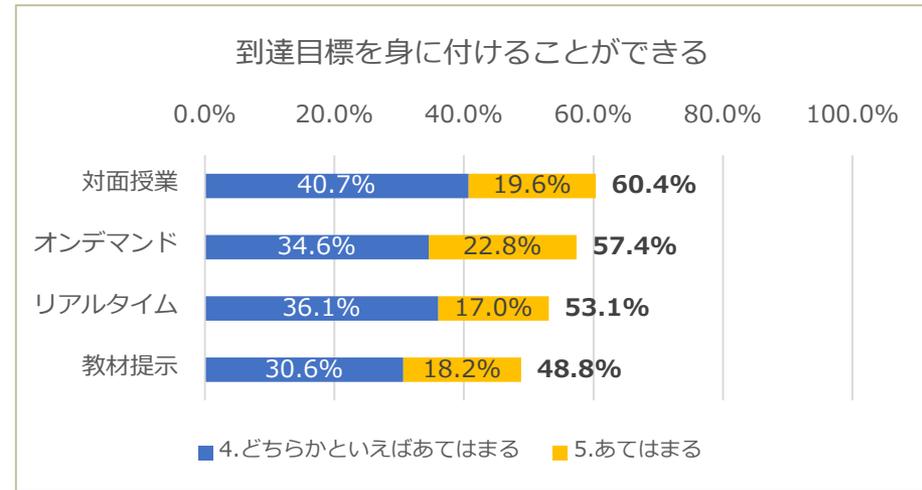
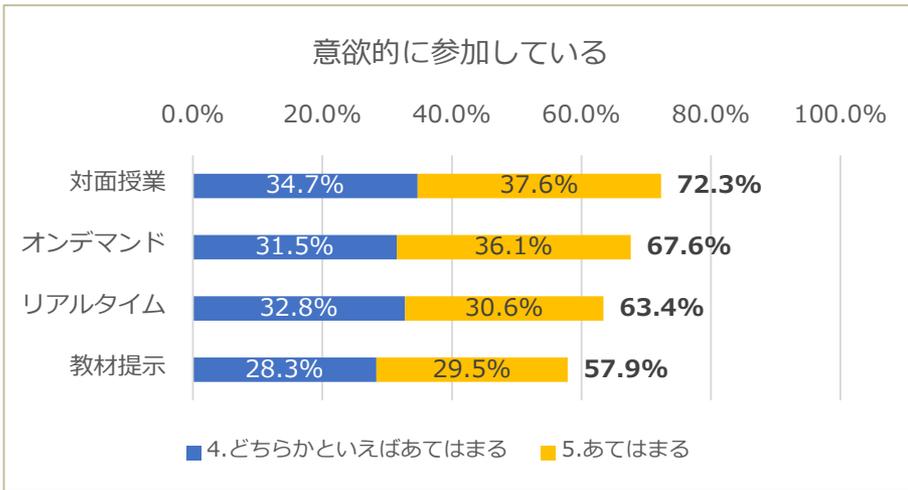
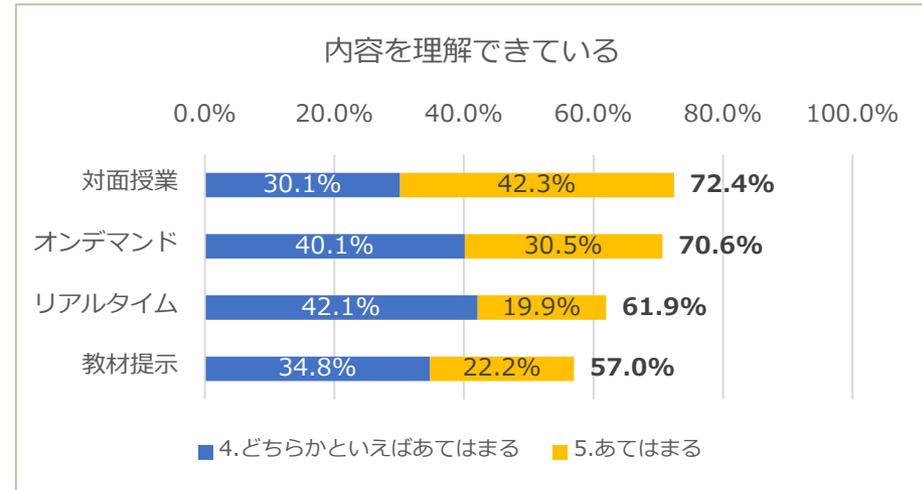
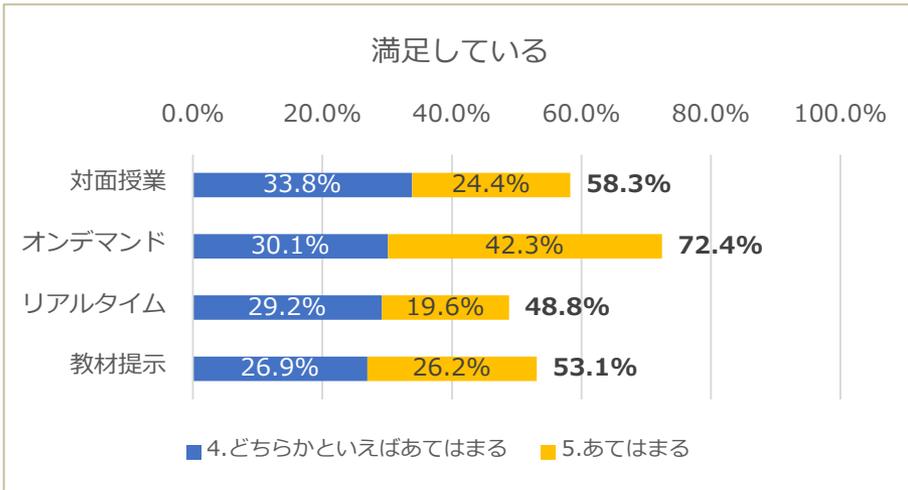


※2021春学期調査と比べ、3年・4年の対面授業割合は約10pt高い結果となった

各授業形態別の満足度/理解度/参加意欲/到達目標獲得

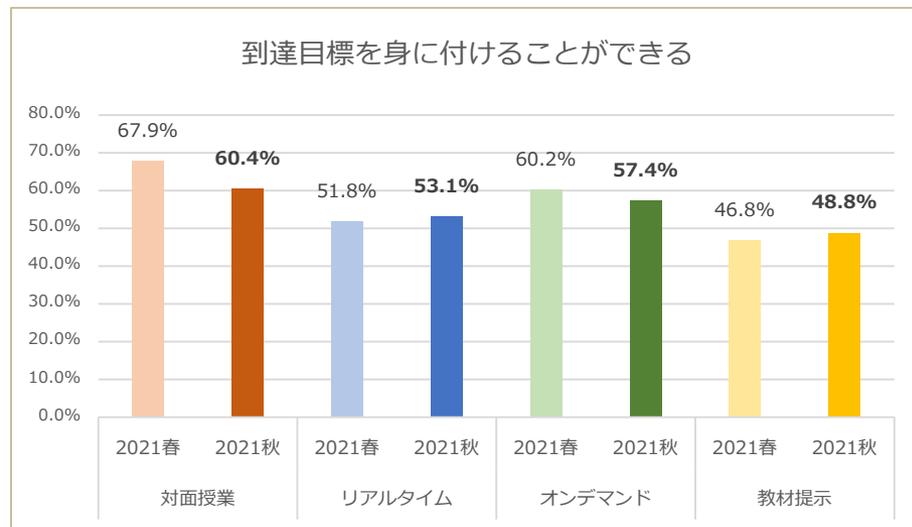
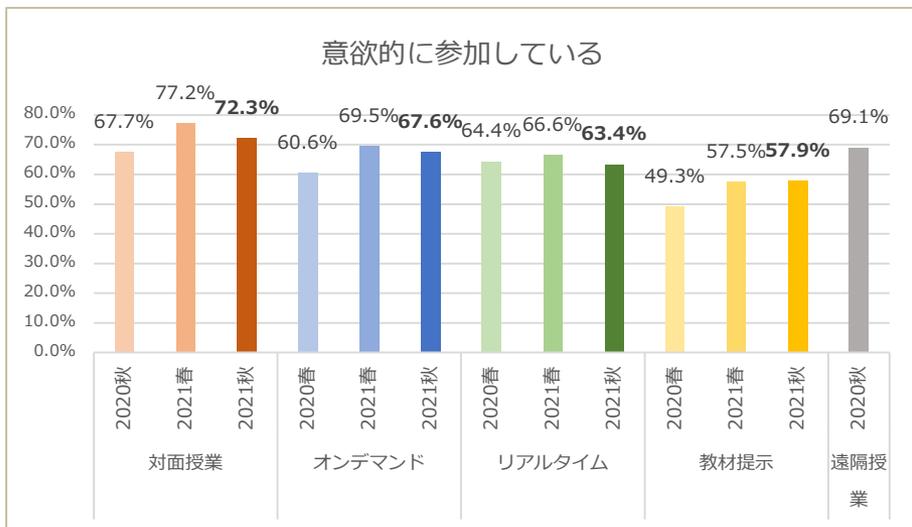
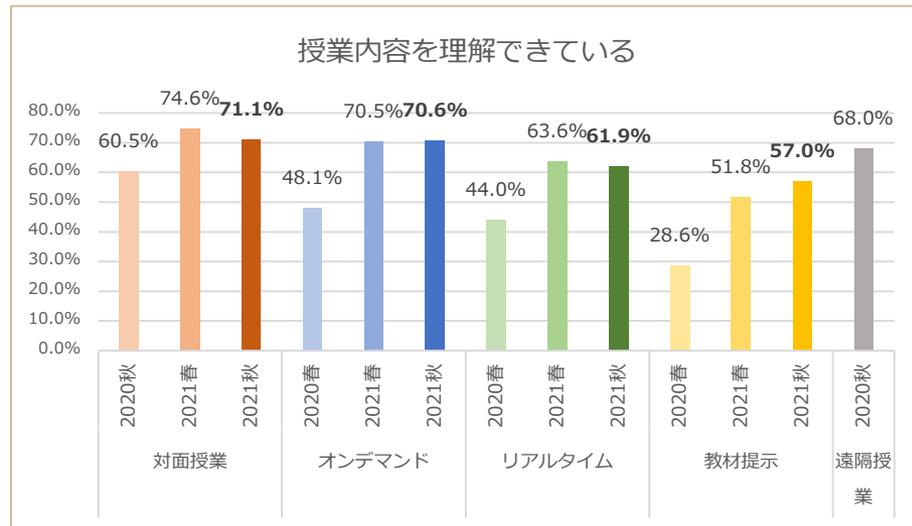
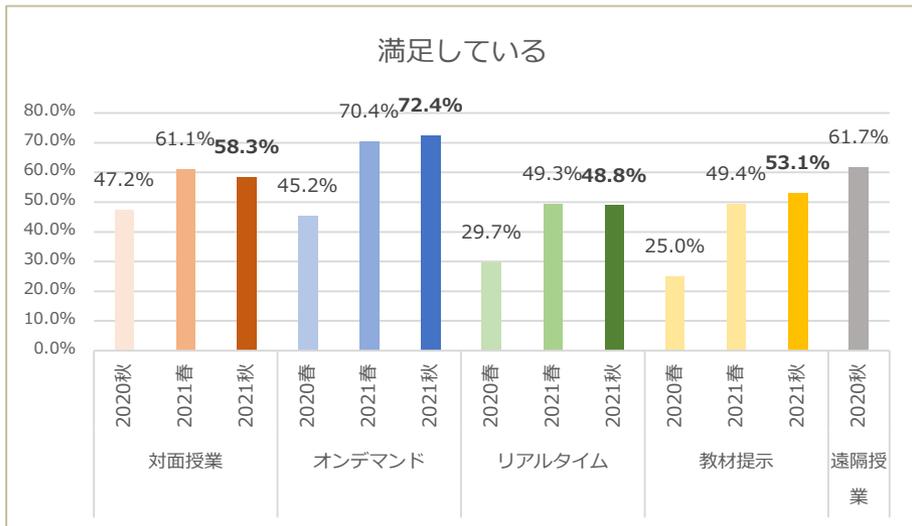
いずれの項目も「1.あてはまらない」「2.どちらかといえばあてはまらない」「3.どちらともいえない」「4.どちらかといえばあてはまる」「5.あてはまる」の5件法で質問

- 「4.どちらかといえばあてはまる」「5.あてはまる」の割合のみを表示
- オンデマンド配信授業の満足度は高く、理解度/参加意欲/到達目標獲得は、対面授業>オンデマンド>リアルタイム>教材提示の順となった



参考：これまでに実施した調査結果との比較

※2020秋学期調査では「遠隔授業」とまとめて質問しているため、授業形態別の集計はない



【各学期の授業実施形態】

2020年春：原則、遠隔授業を実施

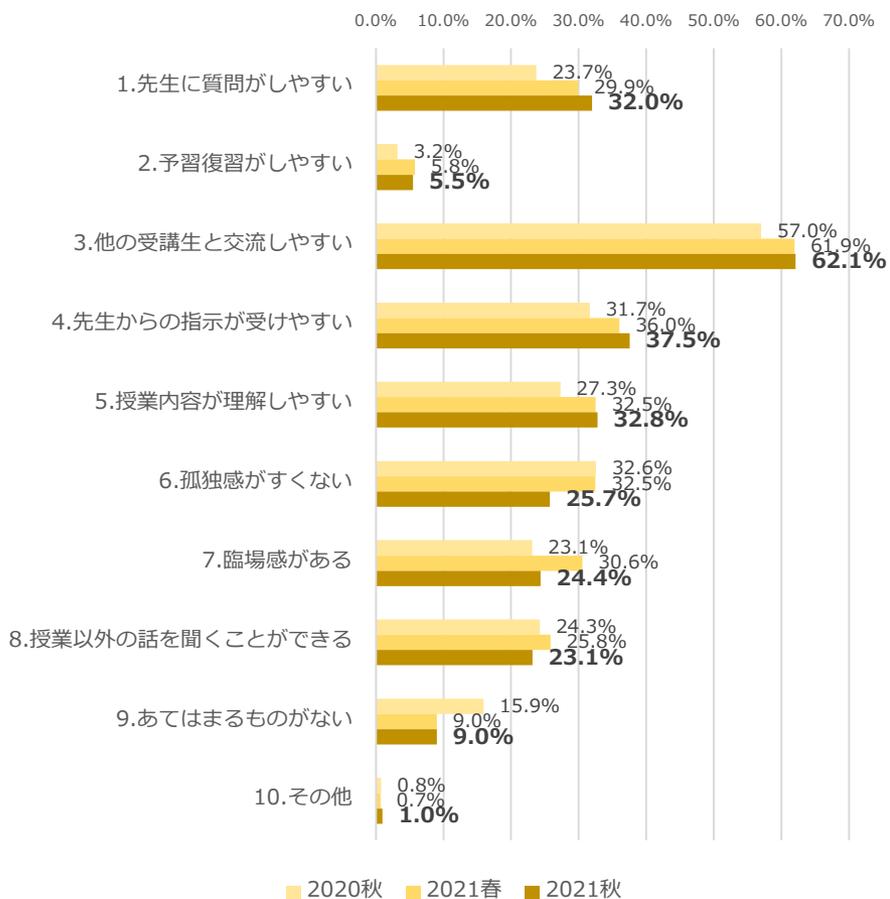
2020年秋：原則、対面授業とし、一部遠隔授業を実施

2021年春：原則、対面授業とし、一部遠隔授業を実施（対面授業は学期途中において、対面授業→緊急的な遠隔授業→対面授業となった）

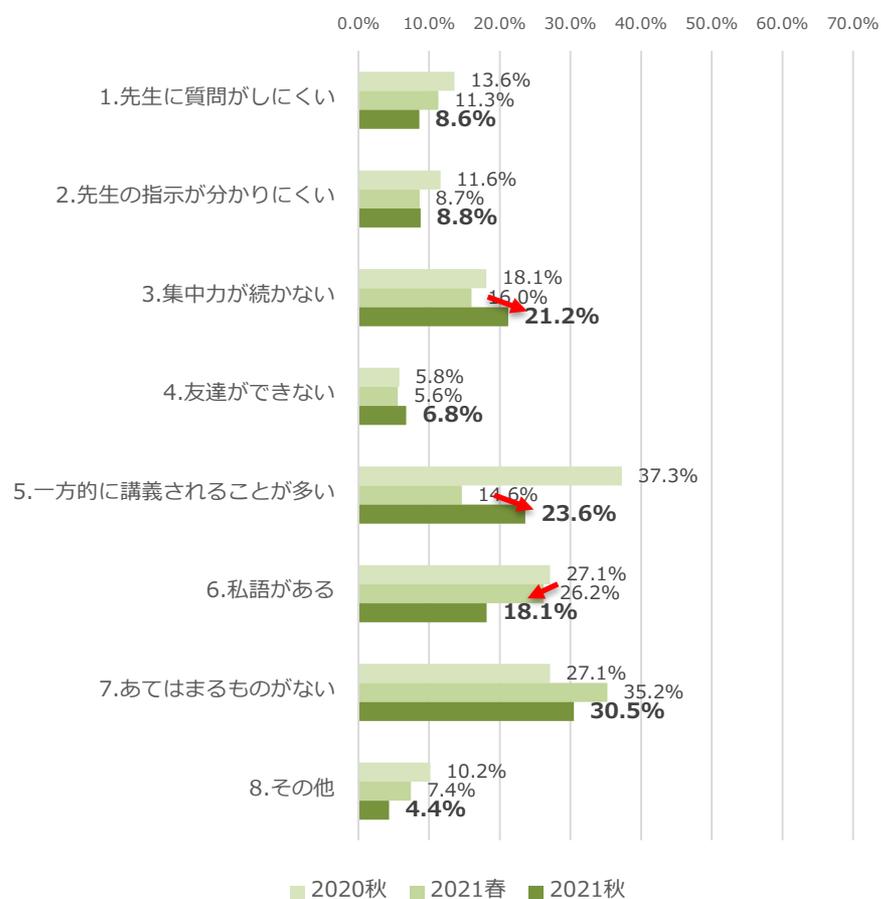
2022年秋：原則、対面授業とし、一部遠隔授業を実施（学期開始時は緊急的な遠隔授業を実施し、学期途中より対面授業となった）

- これまでに実施した調査結果と合わせて表示
- これまでに実施した調査結果と全体傾向は概ね同じだが、「困っていること：一方的に講義されることが多い」は前回調査から増加した

対面授業を受講して「よかったこと」



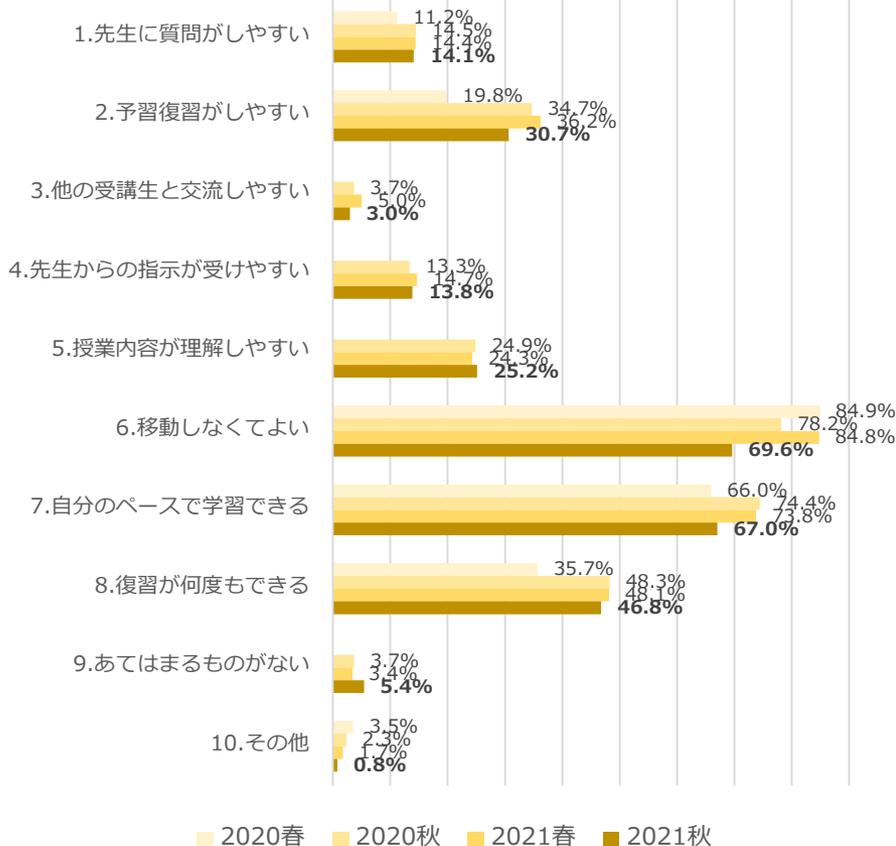
対面授業を受講して「困っていること」



- これまでに実施した調査結果と合わせて表示
- これまでに実施した調査結果と全体傾向は概ね同じだが、「困っていること：課題が多い」は減少傾向となった

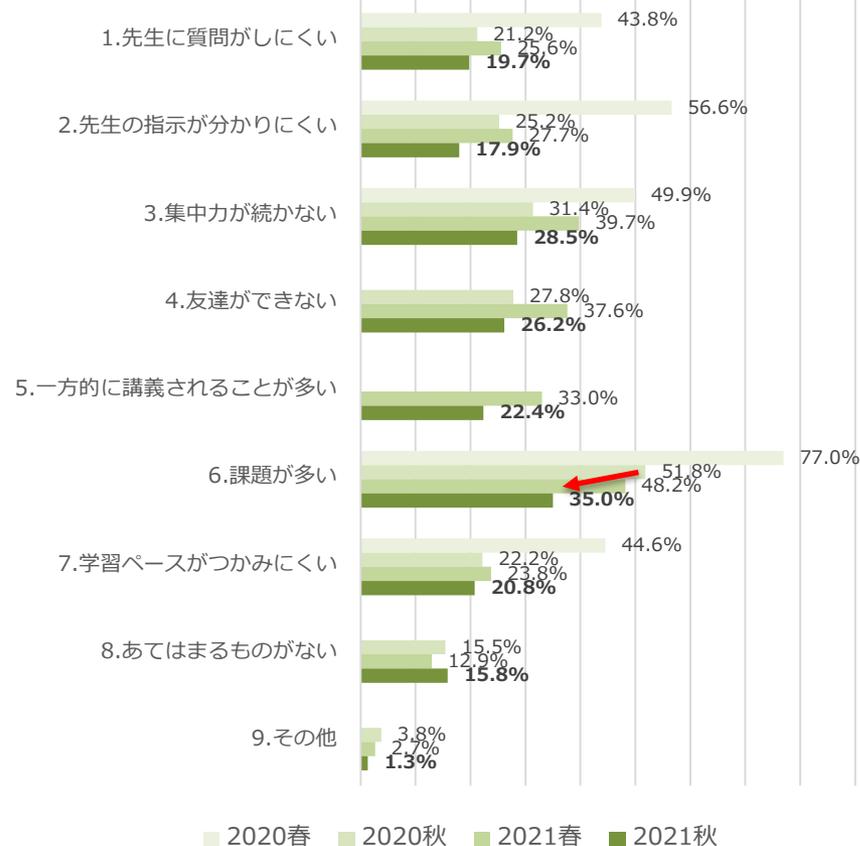
遠隔授業を受講して「よかったこと」

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0%



遠隔授業を受講して「困っていること」

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0%



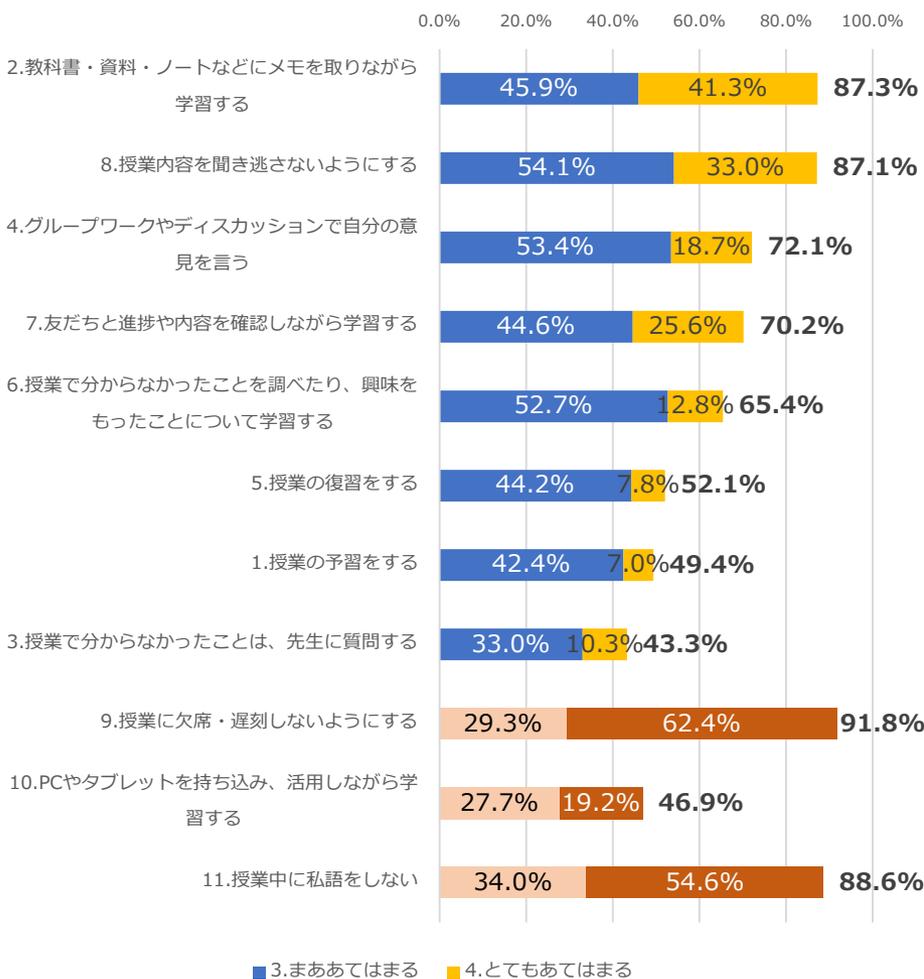
対面/遠隔授業の学習における普段からの取り組み

いずれの項目も「1.全くあてはまらない」「2.あまりあてはまらない」「3.まあまああてはまる」「4.とてもあてはまる」の4件法で質問

- 「3.まあまああてはまる」「4.とてもあてはまる」の割合のみを表示
- 1～8は対面/遠隔で共通質問、9～11は対面/遠隔の独立質問とした

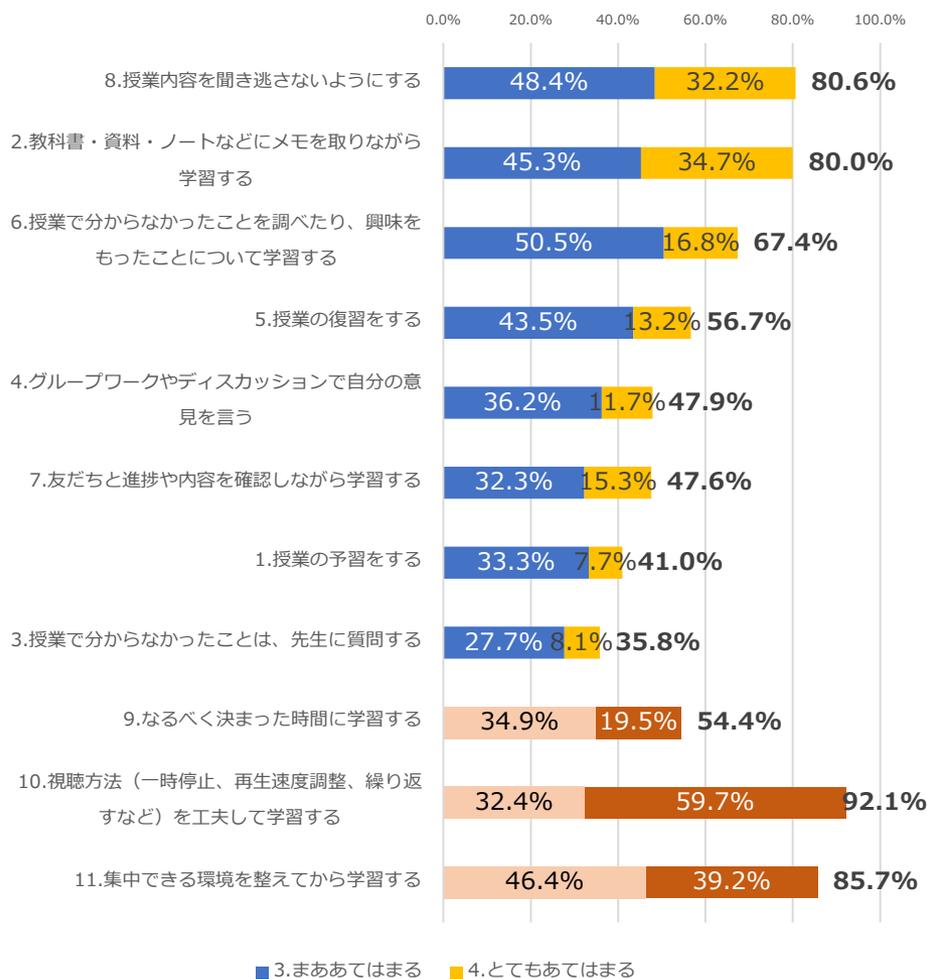
対面授業

Q14 対面授業の学習における普段からの取り組み



遠隔授業

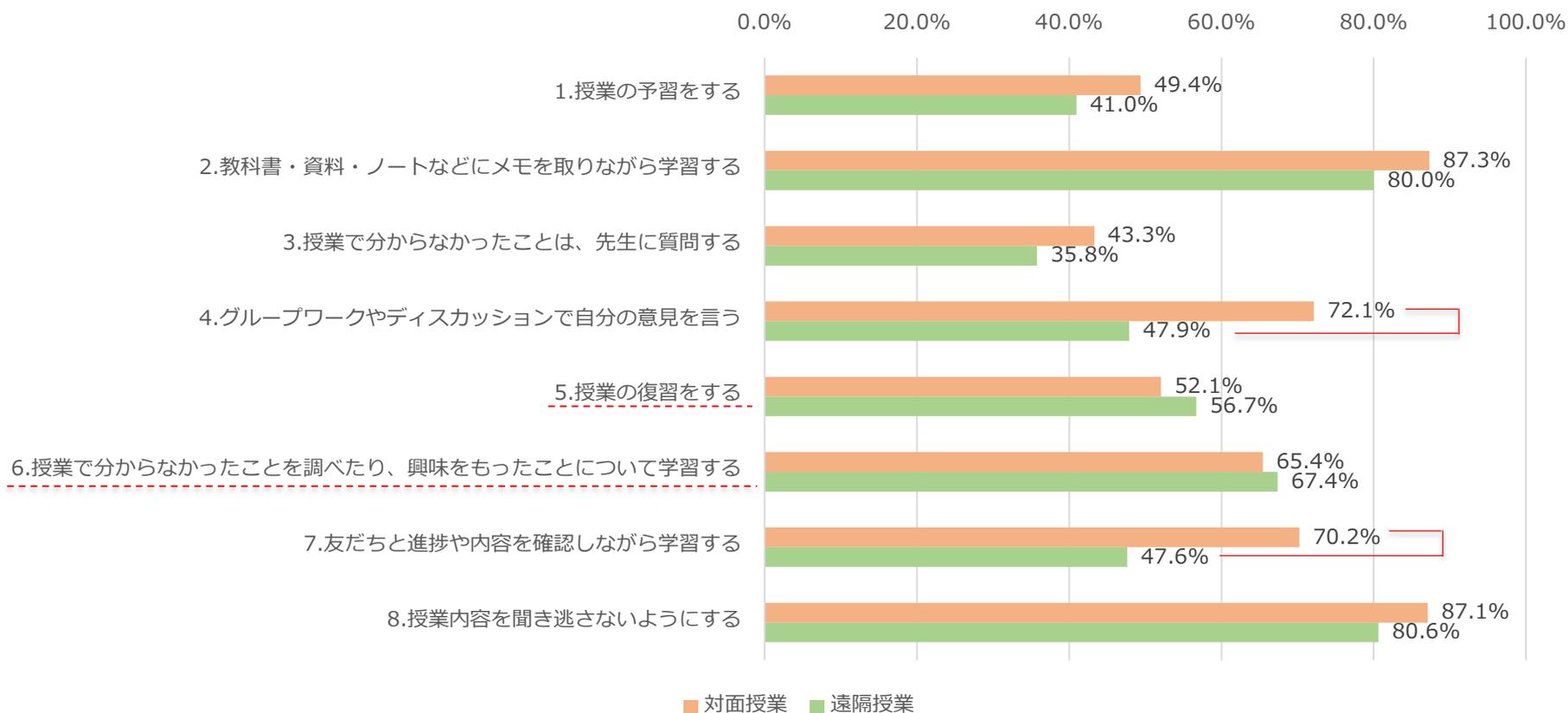
Q24 遠隔授業の学習における普段からの取り組み



いずれの項目も「1.全くあてはまらない」「2.あまりあてはまらない」「3.まあまああてはまる」「4.とてもあてはまる」の4件法で質問

- 対面/遠隔で共通質問する質問（1～8）について、「3.まあまああてはまる」「4.とてもあてはまる」の割合（合計）を対面/遠隔で比較して表示
- 5.復習、6.自習の項目を除き、対面授業の値が高くなった

対面/遠隔授業の学習における普段からの取り組み（比較）

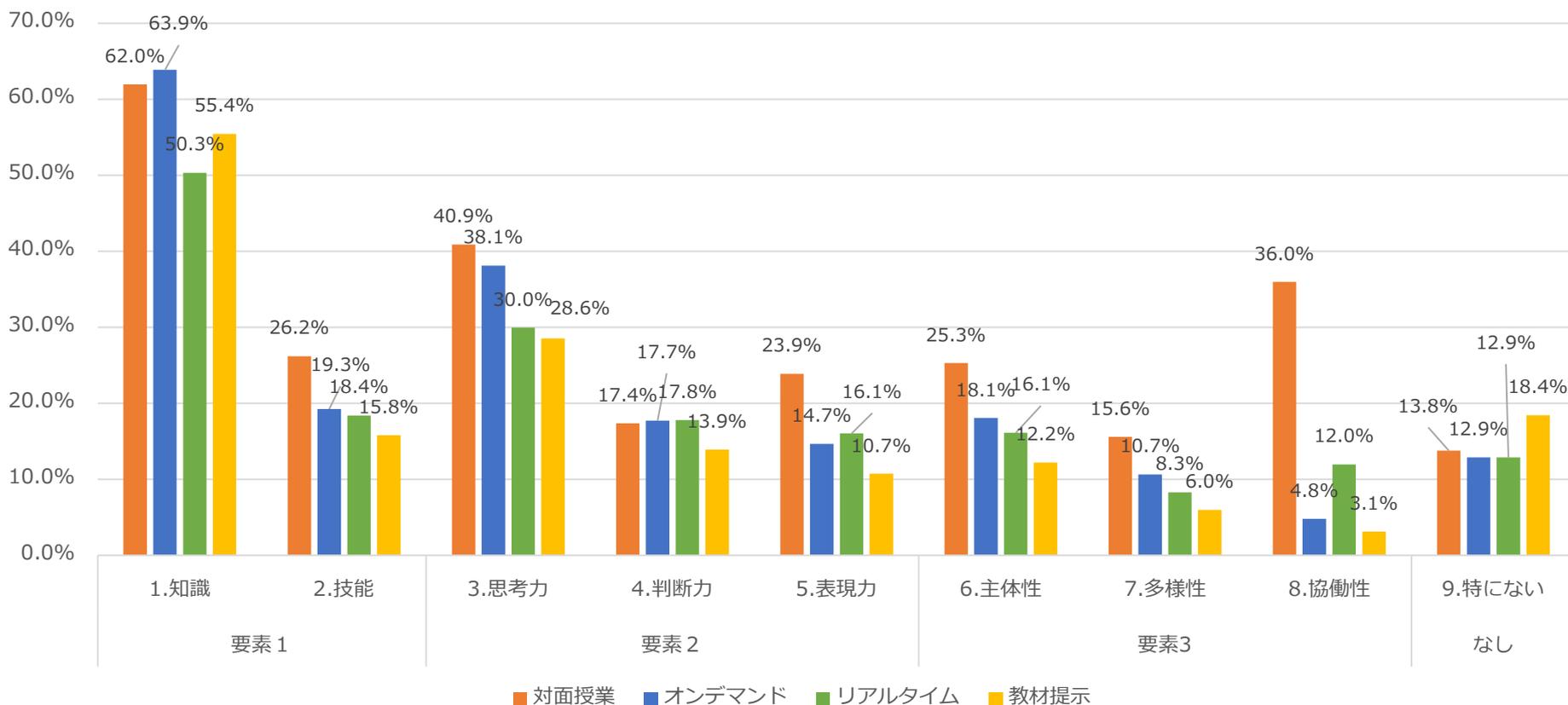


各授業で身に付けることができたもの

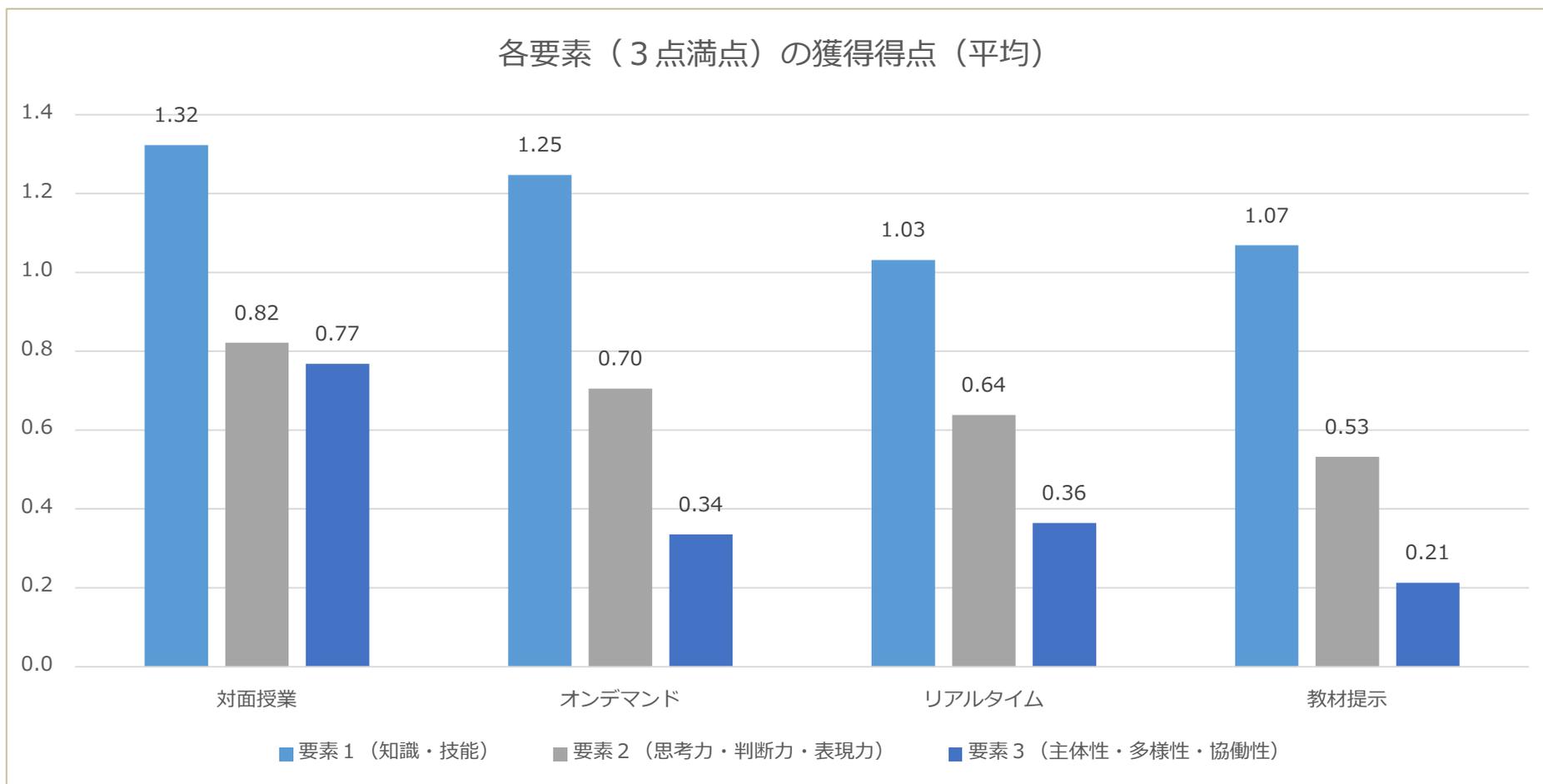
Q 以下のうち、各授業（対面授業/オンデマンド配信授業/リアルタイム遠隔授業/教材提示による授業）で身に付けることができたものをすべて選んでください（複数選択）。

- 各授業形態ごとに「身に付けることができたもの（「学力の3要素」を構成するもの）」を選択する質問（複数選択）の割合を表示
- 対面授業において、各要素の割合が高い結果となった

各授業形態で身に付けることができたもの（複数選択:割合）



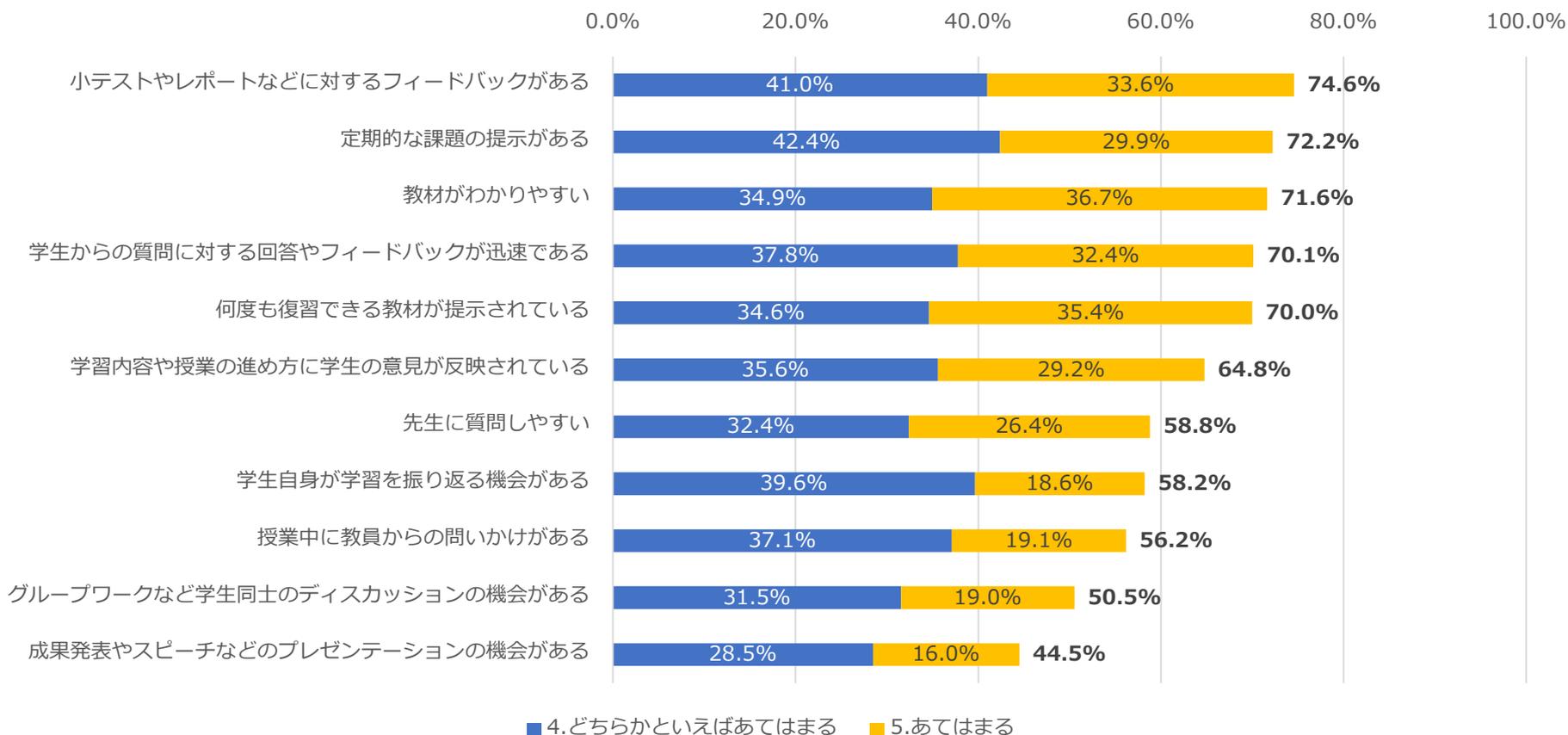
- 回答者ごとに各要素を3点満点として集計し、その平均を算出したものを表示
- 対面授業において学力の3要素の獲得スコアが高い結果となった



いずれの項目も「1.あてはまらない」「2.どちらかといえばあてはまらない」「3.どちらともいえない」「4.どちらかといえばあてはまる」「5.あてはまる」の5件法で質問

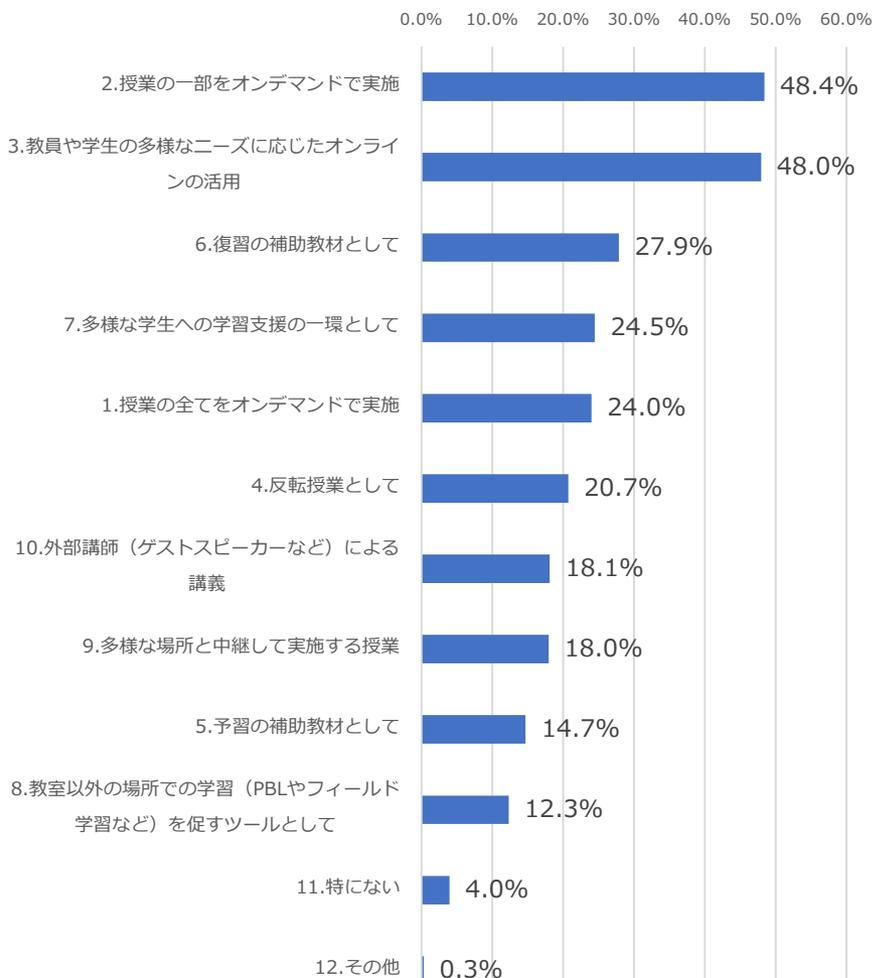
- 「4.どちらかといえばあてはまる」「5.あてはまる」の割合を表示
- 「フィードバック」、「定期的な課題の提示」、「教材のわかりやすさ」といった項目が多く選ばれた

Q26 これまで受けた授業を振り返り、「学習効果の高いと感じる授業」としてあてはまるものを選んでください。

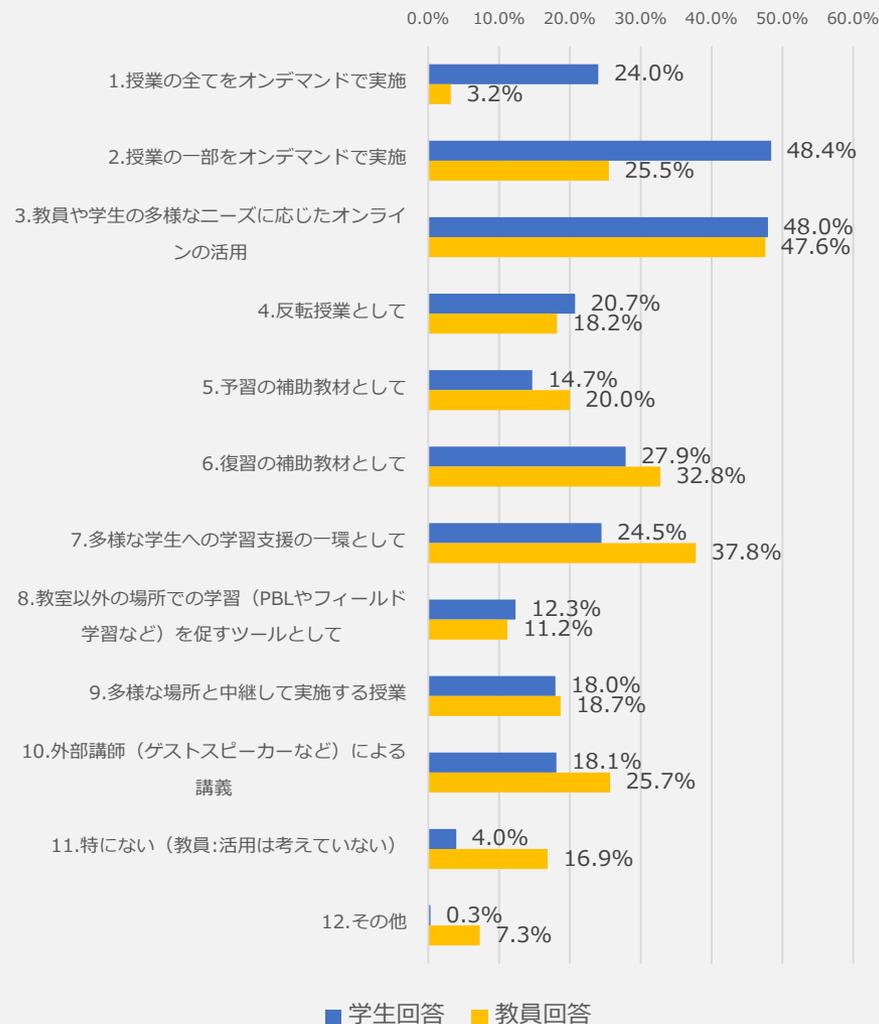


2021春学期実施の教員調査結果との比較（右グラフ）

Q27 コロナ後の教育・学習場面において、以下の方法のうち効果的だと思うものをすべて選んでください（複数選択）。

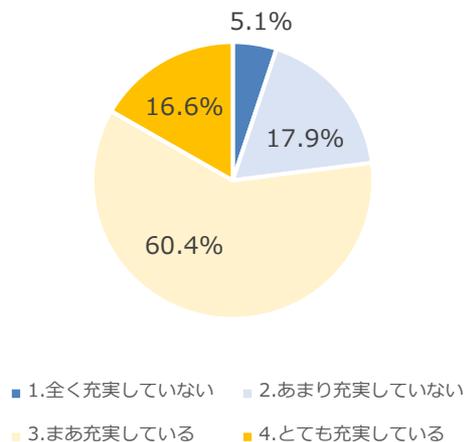


教員調査結果との比較

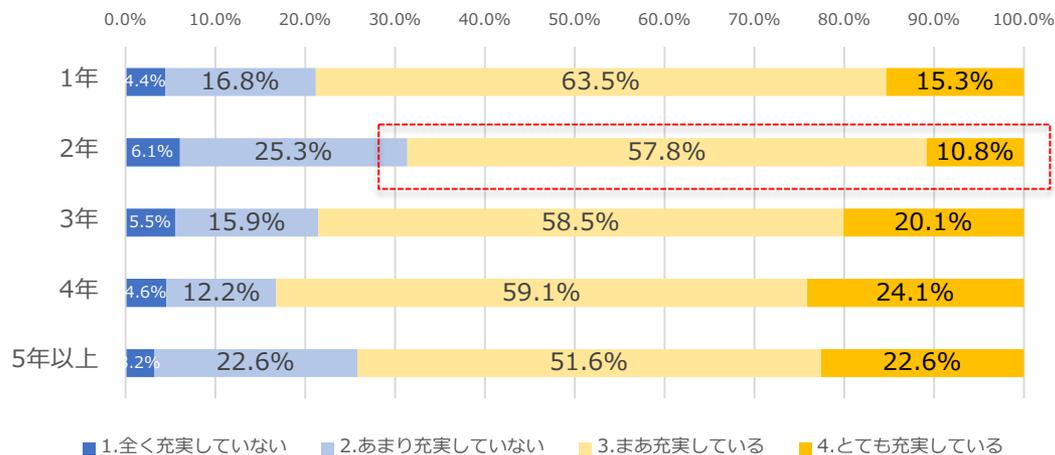


- 学びの充実度、大学における成長実感は2年が低い結果となった

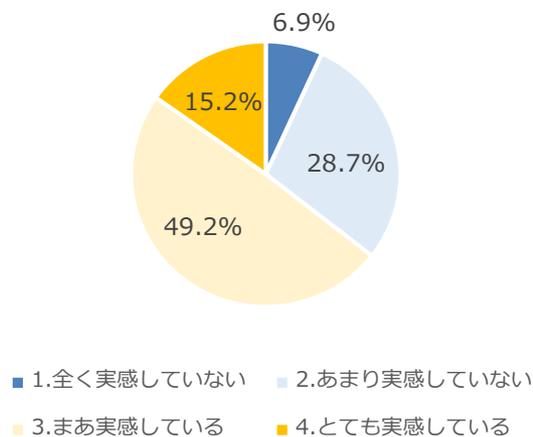
Q30 大学における学びの充実度



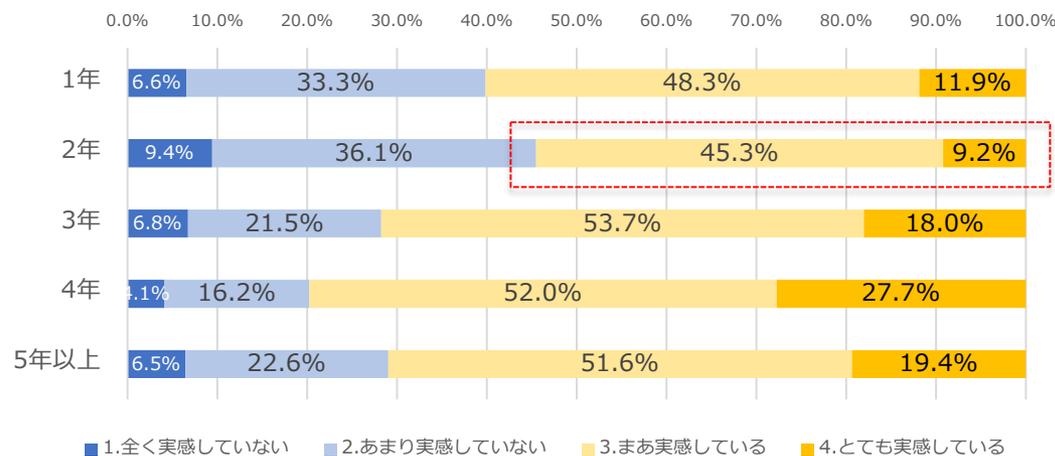
Q30 大学における学びの充実度 (学年別集計)



Q31 大学における成長実感



Q31 大学における成長実感

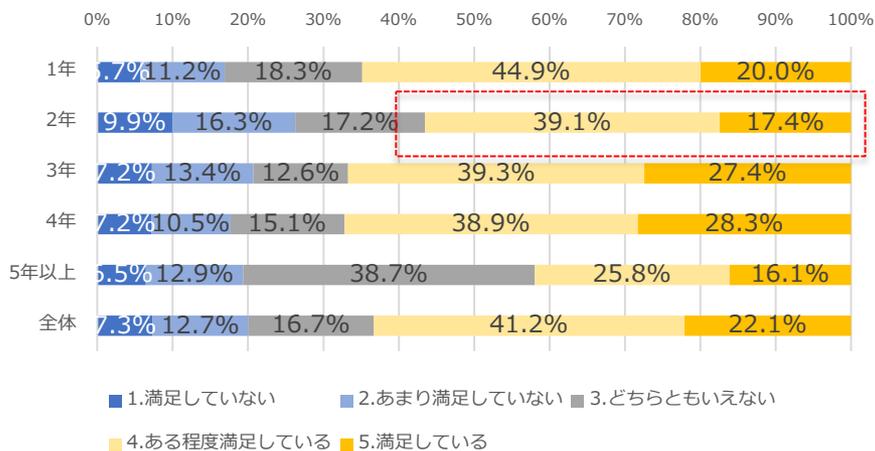


Ⅲ 学生生活に関すること

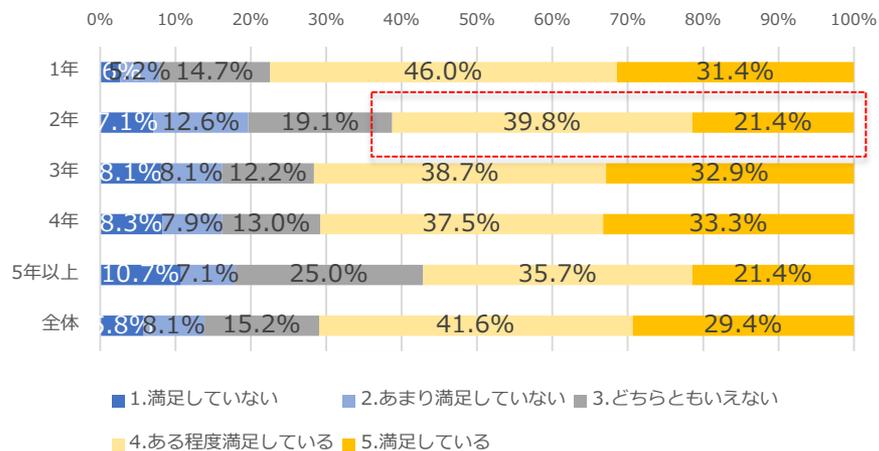


- それぞれの満足度について、2年が低い結果となった

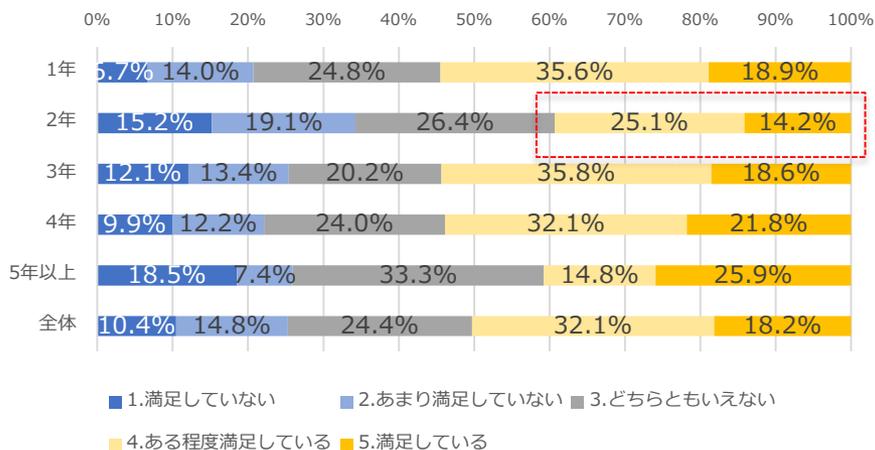
Q29-1 友達や先生などとの交流ができること



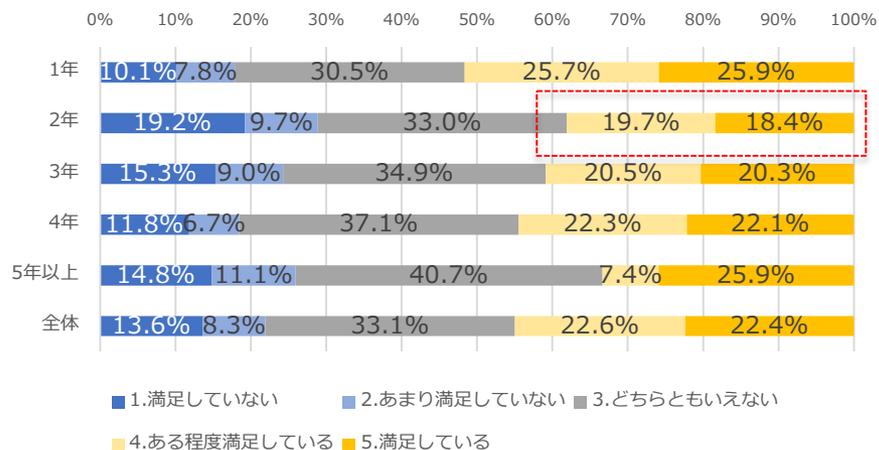
Q29-2 大学の施設などが使えること



Q29-4 キャンパスで大学生らしい生活ができること

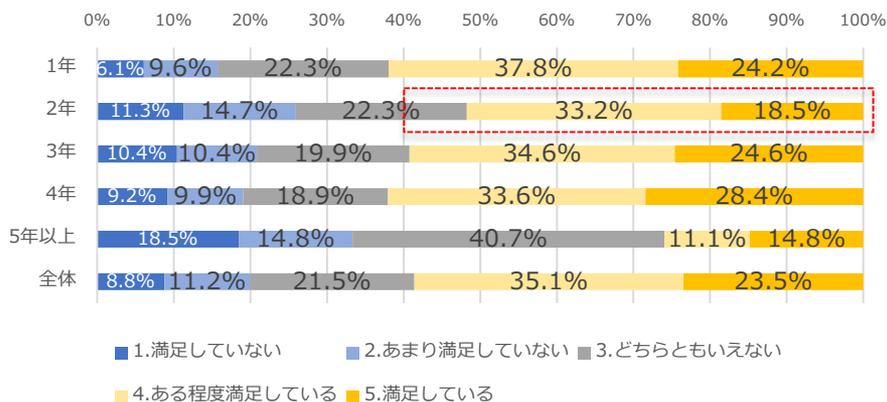


Q29-3 授業外の課外活動に参加できること



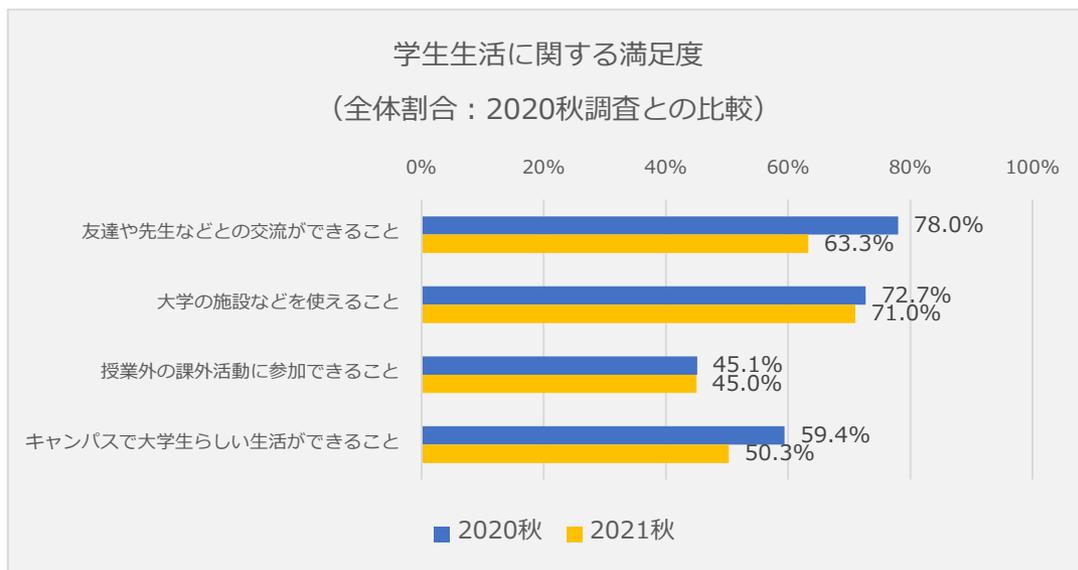
- それぞれの満足度について、2年が低い結果となった

Q29-5 授業時間外に他の学生と一緒に勉強したり授業の内容の話をしたりすること



【参考】

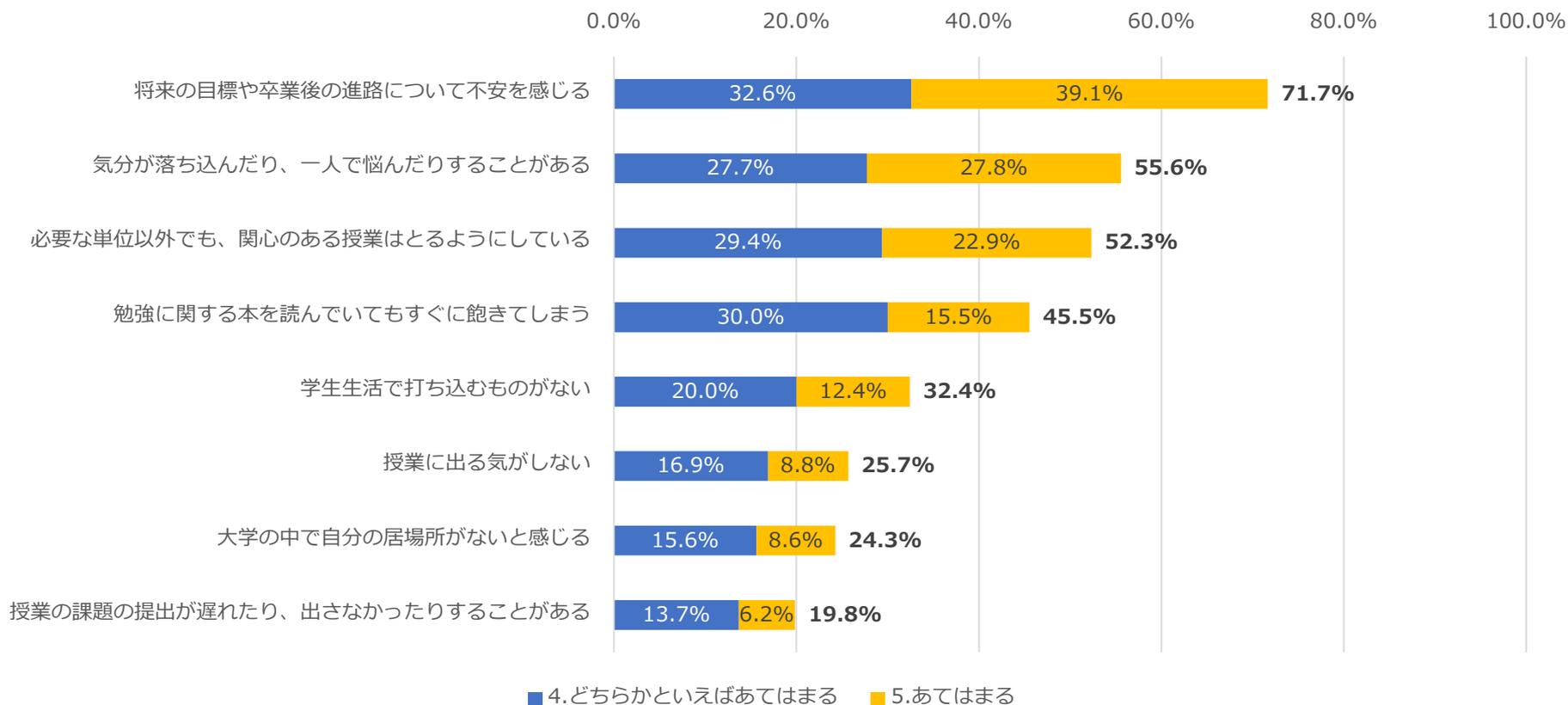
- 2020年秋学期調査結果との比較
- 全体集計（「ある程度満足している」+「満足している」）の比較



いずれの項目も「1.あてはまらない」「2.どちらかといえばあてはまらない」「3.どちらともいえない」「4.どちらかといえばあてはまる」「5.あてはまる」の5件法で質問

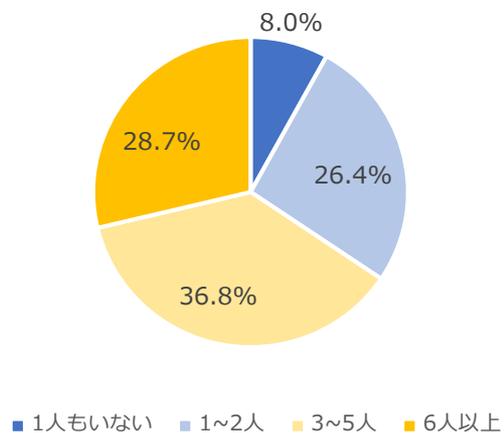
- 「4.どちらかといえばあてはまる」「5.あてはまる」の割合を表示
- 将来に対する不安の項目が最も多く選ばれた
- 各項目においては、2年次生が高い値となった（学年別クロス集計を参照）

Q32 現在、以下のようなことにどのくらいあてはまりますか。

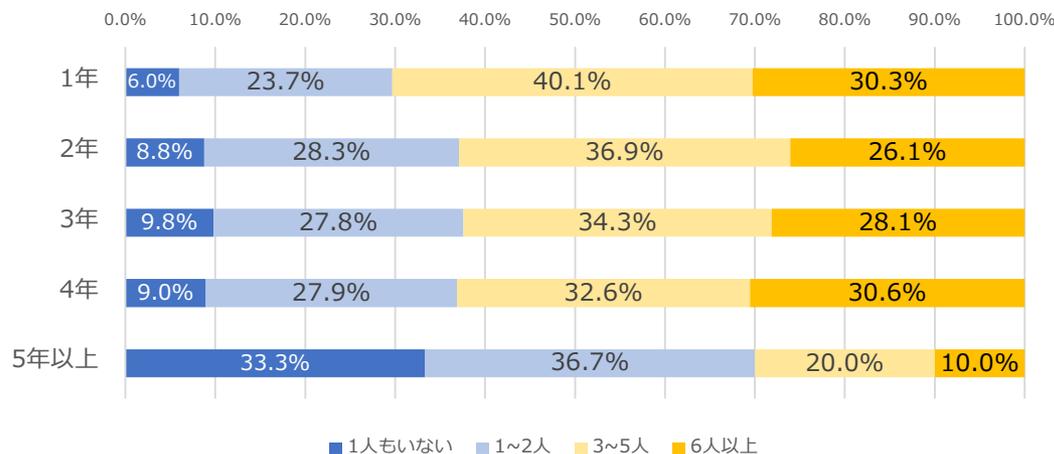


- 相談できる教職員の数は、学年による差異が読み取れた

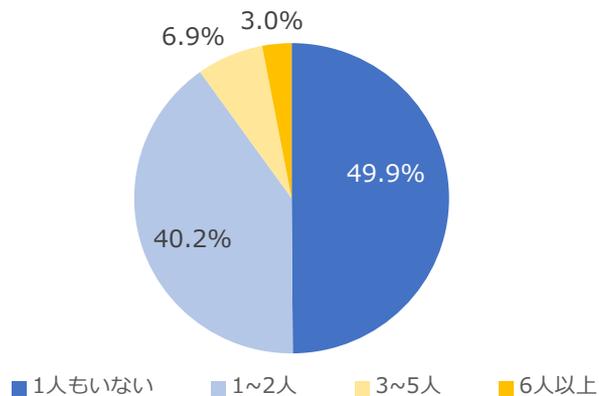
Q33 情報交換や相談できる学生の数



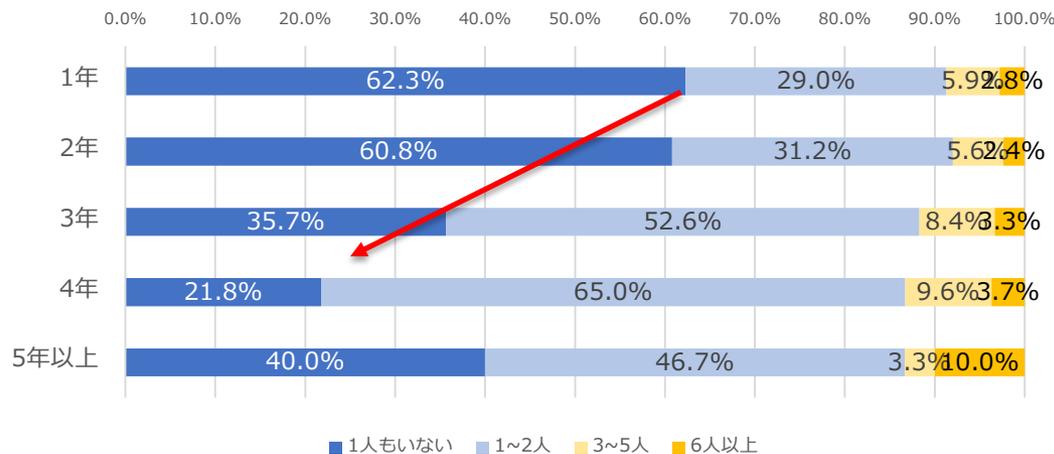
Q33 情報交換や相談できる学生の数



Q34 相談できる教員や職員数



Q34 相談できる教員や職員の数



参考：2021春学期の調査結果との比較

- それぞれの項目について、大きな差異は見られなかった

